

森林官からのおたより

上越森林管理署 高田森林事務所

森林官 栗本誠一

今回は、私が森林官を勤める高田、糸魚川両森林事務所を紹介します。

管轄する国有林は新潟県南部の上越市、糸魚川市、妙高市、十日町市松之山にあり、高田事務所に約8,000畝、糸魚川事務所に約16,000畝、2事務所合わせて約24,000畝の面積があります。

その多くが自然公園に指定されており、中部山岳・上信越という二つの国立公園のほか、国定公園が一つ、県立公園が三つあり、保安林率は約98%となっています。

特徴としては、局管内でも有数の豪雪地帯であることでしょうか。降雪量そのものも大変なものです。が、多くの場所が標高800メートル以上の高海拔地域に位置し、集落から離れているために除雪も入らず、例年11月下旬から5月下旬まで、年の半



米山山頂より頸城平野と日本海

ます。

さて、管内の最近の話題として、高田事務所では信越トレイルの全線開通が挙げられ

ブナの芽吹きは早い



分は雪に閉ざされてしまいます。その中には、さらに7月から10月までの4ヶ月しか道路が開通していない箇所もあり、年度始めから計画的に業務を進める必要があります。

また、海が近いためか雪質が重く、500畝足らずしかない人工林も毎年のように雪折れで間引かれ、残ったものも激しい根曲がりをおこしている、見るたびに心が痛みます。何とか雪の被害を減らせるような施策はないかと、頭を悩ませています。



ジオサイトのひとつ海谷溪谷

ある場所を複数もち、地域全体で教育や産業の振興のために活用している所が認定されるもので、同時に世界ジオパークへ

申請候補地にもなっています。ジオパークの中にはジオサイトという、特徴が観察できる箇所が設定されていて、国有林内にもジオサイトがいくつかあります。標高2,000メートルある鉱山跡や見事な断層が見られる溪谷など、対外的にはあまり知られていなかった箇所が、今後入込客の増加を通して、国有林が活用されることが望まれます。

高田、糸魚川の国有林は共に集落から離れたところにあり、これまで目立った事業も無かったことから、地域から忘れられた存在になっています。その中で少しでも国有林の存在をアピールすることが、森林官としての責務だと思っています。



北アルプスの北限、雪倉・朝日岳